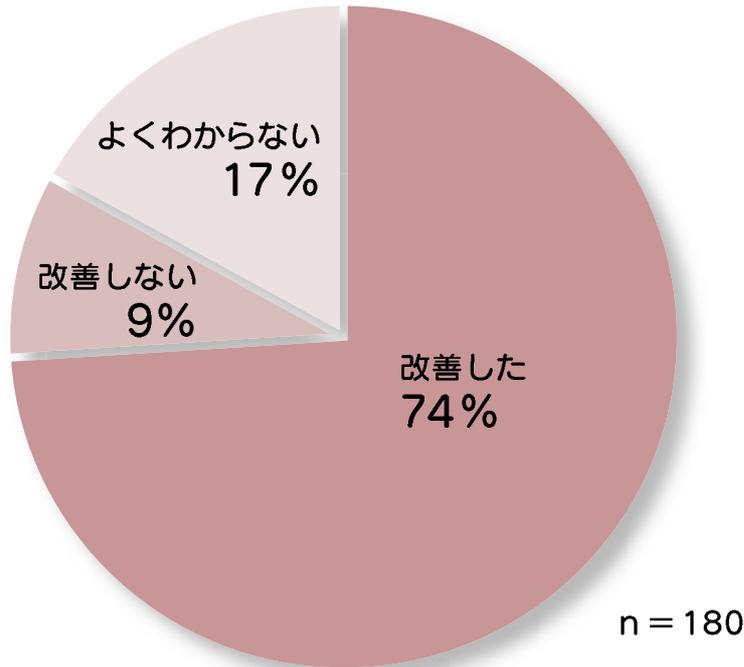


## 保険適用外(自費)でSMBGを行っている方への質問

### Q. 血糖コントロールは改善しましたか？



自費でSMBGを行っている人の4人に3人が「血糖コントロールが改善した」と答えています。もちろん、コントロール改善の要因をSMBGだけに求めるのは性急ですが、SMBGの利点についてたずねた「血糖自己測定をして良かった点は？」という設問に「効果が確認できて治療の励みになる」との答えが145件に上ったことと合わせて考えると、より良い自己管理の治療の動機付けとしてSMBGが十分機能していると言えるでしょう。

SMBGの利点としては、このほかに「低血糖かどうかわからないときに数値で確認できる」「食事や運動の指針が立てられる」「以前は少し調子がおかしいだけで不安だったが今は安心」「数値をもとに主治医と意見交換が可能」などが挙げられました。

他方、4人に1人はSMBGを行ってもコントロールが「改善しない、よくわから

ない」と答えていて、この辺りをフォローアップしていく体制が求められます。

### Q. 血糖自己測定を行ううえで、いやな点はどんな点ですか？ (複数回答) n = 159

穿刺するのが痛い	47%
操作が面倒だ	23%
お金がかかる	79%
その他	8%

この設問でもコストに関する問題が、穿刺の痛み以上にSMBG継続の障害になっていることがわかります。では実際にどのくらい費用がかかっているのかというと、月に4,000円以下が37%、4,000~7,000円が40%、7,000~1万円15%、1万円以上9%でした(n=156)。測定頻度は、月に10回未満が32%、10~19回が18%、20~39回が27%、40回以上23%です(n=164)。

### Q. 血糖自己測定を始めたきっかけは何ですか？ n = 154

医療スタッフに勧められた	56%
知人が行っているのを見て	9%
雑誌などを見て	16%
その他	19%

保険適用外でSMBGを始めた人のそのきっかけは「医療スタッフに勧められた」が半分強といったところでした。逆に言うと半数近くの方はご自身の情報収集によって始めたことになり、これは意外に高いと感じられる数値ではないでしょうか。より良い自己管理を求める患者さんの要求は、決して低くないようです。

保険の適用範囲についての質問には、圧倒的に拡大を求める声強い(90%)ものの、「保険になると安易に使いすぎる」「自分のペースでやっていたほうが楽」など、現状のままで良いとする意見もありました。

#### コメンテーター

#### 鈴木吉彦

(日本医科大学客員教授・(財)保健同人事業団付属診療所所長)

SMBGに対し自己管理の効果と経済的負担をどう考え対処しているかを公開した点で価値の高い報告です。回答のすべては臨床現場で直面する問題を想定させます。本内容を進歩的に展開させれば患者さんに福音をもたらす社会システムの再構築に寄与するかと思います。ただし医療では、安ければ安いほどすべてが良いシステムでもありません。バランス感覚をどうとるべきかは、患者さんと多くの医療スタッフの声に傾聴し慎重に対応する必要があります。また、例えば民間保険サービスの参入なども含め考慮すべきと考えます。